

セーリングチームが見た
ウェイマス

2009年の遠征から

2009年遠征メンバー

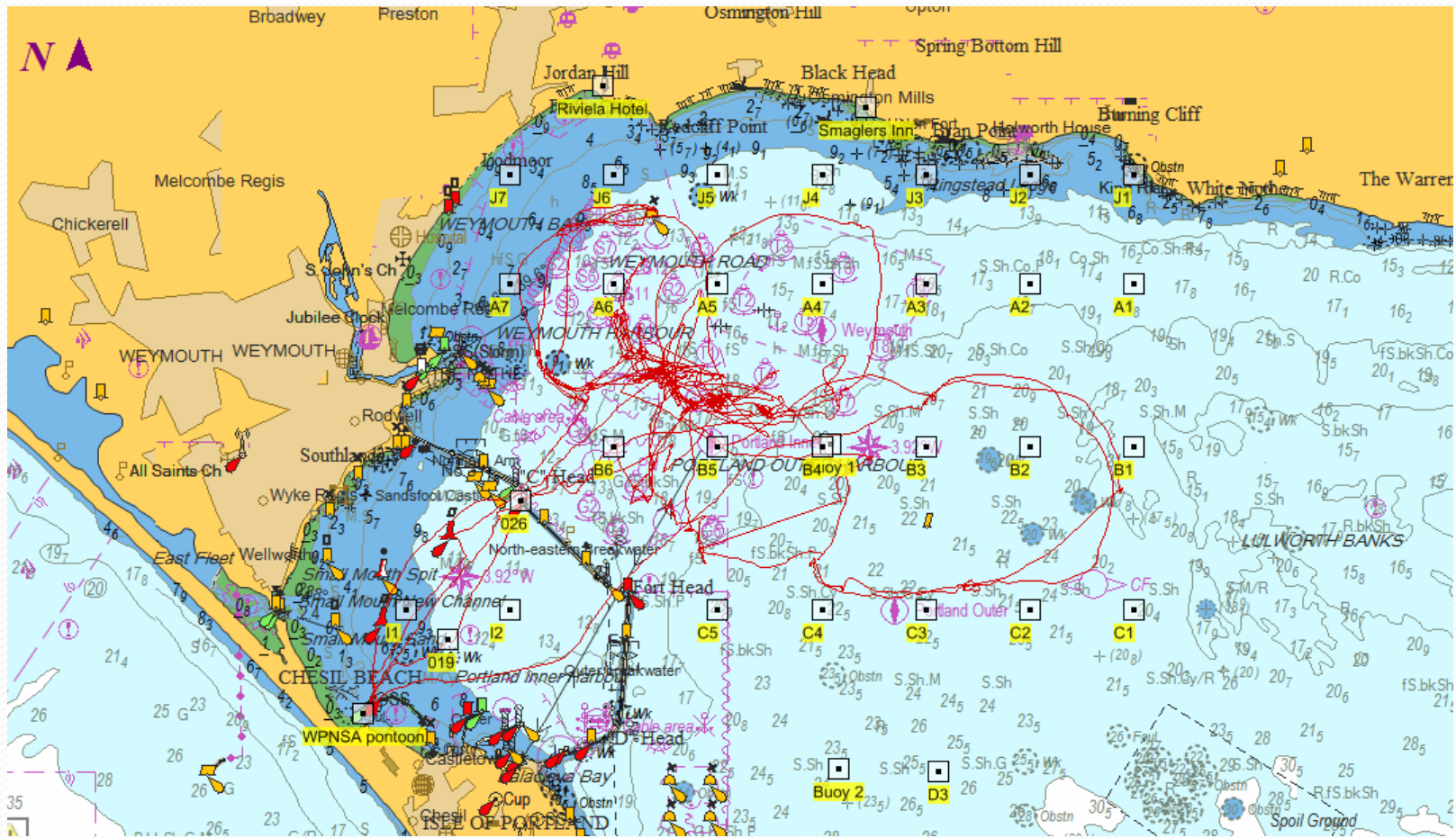
- RS:X級 宮野C、富澤、高橋(8月13日～9月20日)
- RS:X級 須長、大西、高木、谷(8月20日～9月20日)
- RS:X級 小川(9月4日～17日)
- 470級 原田、吉田、石川、柳川、近藤、田畑、吉迫、大熊
小松C、中村昭仁C(9月1日～20日)
- レーザー級 安田、齋藤大輔(9月7日～19日)
- ラジアル級 長谷川(9月7日～19日)
- 49er級 牧野、高橋(9月2日～20日)
- オリ特 山田委員長、中村健次(C)、斉藤愛子(C)、江口トレーナー

大会： 8月31日～9月10日 RS:X級世界選手権

9月11日～19日 スカンジアSFG(ワールドカップ第7戦)

選手20名、コーチ(C)5名、総勢27名

レースエリア(実際)



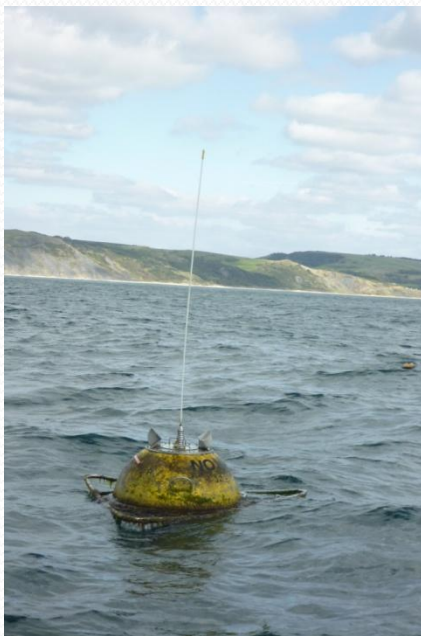
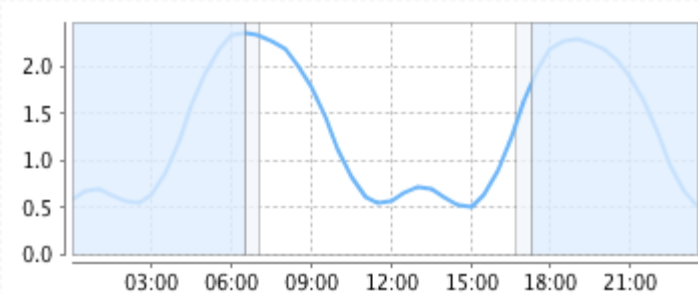
選手・コーチから聞いた意見・感想 (ポートランド港内)

- 潮が弱く、流れがあるのは入口付近だけ
- 風は道筋があり、そこから外れてはならない
- 岸に囲まれており、次の風が突然見え出す
- 無風の状況から次に吹きだす場所がわかりにくい
- 8月は南西、9月は北系、オリンピック本番は？
- ポートランド島の影響がいまひとつわからない
- 北風でのウェイマスの丘の影響がわからない
- 海風の入り方にパターンがあるのか

選手・コーチから聞いた意見・感想 (ウェイマス湾)

- 陸風は強弱、シフトが大きい
- ガストが極端に強い
- 陸風だと家畜や糞のにおいがする
- 海風だとパラグライダーがいる
- 岸よりでも東端エリアは潮が1ノットくらいの時があった
- 南側エリアは沖側の潮が2ノット近い時があった
- ビーチに近いと潮はゆるい
- ポートランド先端に遊びに行き、潮の速さにびっくりした
- イギリス選手が海上で潮の資料図を見ていた
- 波が悪く、特にチョッピーで走りにくかった
- 波の向きと風が異なる(沖からの波と陸からの風)

ウェイマスの潮は速い？



- 潮汐の干潮時に小山ができる。
- エリアごとにいつ転流があるのか、わからなかった。
- 東から流れている時間が長い感じがした。
- オリンピック本番の潮は？

2010ー2012年のスケジュール

2010年	8月1日～15日	スカンジアSFG
2011年	6月5日～11日	スカンジアSFG
	7月31日～8月13日	プレ五輪
2012年	6月4日～9日	スカンジアSFG
	7月28日～8月11日	五輪本番

2010年7月後半、2011年7月後半、2012年7月は現地合宿を実施する可能性がある。

セーリングチームが集めるデータ

- 海へ出た時の東西南北の雲写真
- 実際の天気と1日の傾向・所感
- 海上の風データ(コーチボート)
- 漂流棒を使った潮測定データ(GPS利用)
- レースエリアの水深データ(GPS位置と水深)

レースエリアが確定するのはプレ五輪の終了後

セーリングチームに必要

- ウェイマスに滞在時の気象予報
- 気圧配置による風の影響(傾度風パターン)
- 海風のパターン
- 陸の地形による影響
- 潮汐時刻と流れの変化のエリア別時間差
- 転流の変化のエリア別順番
- エリアごとの最大流速と場所による流速差
- ポートランド港内の表面流の流速
- 2009年からの本番までの所見まとめ

海へ持ち出したい資料

- エリア別転流がわかる時刻表
- エリア別潮流が見えるベクトル図
- 潮流図に重ねる透明なコース図
- 水深がわかるチャートエリア図
- ランドマークがわかる写真
- 過去のデータ資料から有利サイドの判別情報
- レース当日の気象情報と風の傾向アドバイス
- 潮流と風向とのレイライン(ガイド図)

2009年の調査 — 各国の状況

- 地元イギリス (Team GBR) の取り組み
 - 防波堤上の基地
 - コーチボートからのデータ収集 (無線で基地へ随時送信)
 - リアルタイムでのデータを集めている
 - すでに潮流データの資料が海上用として整理されている
- フランスの取り組み
 - コーチボートに計器を取り付け、系統だって調査
 - エリア全体でデータ整理をする担当者がいる
 - 水深チェックも実施しているので、潮流調査に熱心
- その他の国
 - コーチボート (約120艇) に風の測定機器をつけているものが31艇あった。過去最高に増加している。(日本は3艇が機器付)

Team GBR



フランスチーム

